

春闘第2回交渉終了

中央本部は2024年2月26日、「24春闘第2回交渉」を行い、貨物労組の要求の根拠を提示しました。

～やりとり抜粋～

- 組**→組合員は毎月1.27%（平均3810円）の実質賃金低下し、生活実態は厳しくなっている。生活にゆとりがなければ、仕事に対するモチベーションは上がらない。
- 会**→会社の収益が上がっていない。物価高により実質賃下げ状態なのは認識している。生活給はベースアップ、業績給は各期末手当という考えには変わらない。
- 組**→離職率は、今年度2%超え会社も危機感を示し、離職防止対策をやってきたというが、我々には不十分である。職場の声に耳を傾け、職場の声に沿った対策をすべきである。
- 会**→離職が昨年より増えているのは認識しているが、退職理由として賃金が全てではない。
- 組**→2024年問題が迫り、貨物鉄道輸送に追い風が吹いているが、要員不足ではその期待に応えることは出来ない。特に、運転士不足は喫緊の課題である。
- 会**→採用については採用市場が激化している。採用の工夫をしなければならない。JR旅客会社でも離職が止まらないと言っていた。鉄道業界の人气が下がっていると実感している。

以上のように賃下げの状態を認めつつも「収入が悪い」を前面に出し、賃上げ抑制姿勢を示しています。これから闘争ゾーンへと突入します。

青年部員の労苦に応えようとしない会社の姿勢を糾す、青年部員の将来展望を見出すために満額回答は必須です。満額回答を勝ち取る為にも、我々青年部員は会社に対し、団結力を示す為にも、座談会や決起レク等に最大限の結集を図り、交渉を押し上げていくことが重要になります。

第2回交渉 →
(2月26日)

今ココ

闘 争 ゾ ー ン

次回

→ 第3回交渉(会社の考え)
(3月7日)

山場の闘いにむけた意思統一

- ☆座談会や決起レクリエーションの開催
- ☆抗議メッセージや要請FAX行動の準備
- ☆全国統一職場集会への参加呼びかけ

意思統一を図り、満額獲得にむけ団結して闘い抜こう！！